

平成21年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 金利タイプ別利用状況（平成21年3月～6月期）

※ 調査名称の変更等：本年度から「金利タイプ別利用状況」を「民間住宅ローン利用者の実態調査」とは別に原則毎月公表します。

調査の概要

1. 調査方法

インターネット調査

インターネット調査会社のモニター86万件に対して調査対象の要件確認を行い(7/10～7/17)、これに応じた16万件のうち平成21年3月から平成21年6月の間に民間住宅ローンを借入された方2,058件に、インターネットによるアンケート調査(7/18～7/22)を実施し、先着順に回答があった民間住宅ローン利用者1,183件を調査対象とした。

2. 調査対象

民間住宅ローン利用者 n=1183

- ・借入時期：平成21年3月から平成21年6月までに民間住宅ローンを借り入れされた方
- ・居住用の新規の住宅ローン（除く：借換え、リフォーム、土地のみの融資、アパートや投資用のローン）
- ・全国の20歳以上60歳未満までの方（除く：学生、無職）

3. 調査時期 平成21年7月18日～7月22日

4. 調査項目 利用した住宅ローンの金利タイプに関する事項

平成21年8月12日
独立行政法人 住宅金融支援機構 住宅総合調査室

住宅ローンの金利タイプ（借入月別構成比の推移）

- 消費者の消費節約志向が徹底するなか金利水準の低い「変動型」の利用割合は引き続き4割台を維持。
- 「固定期間選択型」では金利割安感のある(10年)の利用割合が直近では25%まで増加。
- 「全期間固定型」は、概ね2割で推移。

